

平成29年8月16日

神奈川県知事

黒岩 祐治 様

神奈川県知的障害福祉協会

会長 河原 雄一

神奈川県身体障害施設協会

会長 伊藤 崇博

特定非営利活動法人神奈川セルフセンター

会長 鈴木 暢

平成30年度障害福祉施策に関する神奈川県への要望書

日頃、神奈川県におかれましては、障害者(児)の地域生活に特段のご配慮をいただき感謝申し上げます。

さて、障害者が地域で生き生きと暮らすためには、行政が中心となりながら、我々障害支援団体も一体となった障害者(児)支援が一層重要になります。

福祉先進県と言われている神奈川県においては、独自性ときめ細かな施策が継続されることを強く望み、下記の事項についてご配慮くださいますようお願いいたします。

1. 津久井やまゆり園の整備計画について(新規要望)

津久井やまゆり園の再整備にあたり、現部会での議論を含め次の三点を要望いたします。

- (1) 再整備にあたっては神奈川県全体で県立施設の定員を維持しつつ、大規模施設からの転換。特に「小規模化、ユニット・個室等住環境の改善」等の整備を要望いたします。
- (2) 再整備にあたっては、地域の拠点施設として「各種相談事業等・重度重複障害者等の地域生活を支えるための短期入所機能・障害者虐待防止法に基づく「居室の確保」に係る受入機能等」地域生活支援拠点事業として、県立施設として期待されている総合サービスが実行できるよう要望いたします。
- (3) 再整備にあつては、利用者の意思を丁寧に確認し、今後の暮らしの場について拙速な結論を出さないよう要望します。

2. 誰もがその人らしく暮らすことの出来る地域社会の実現に向け(新規要望)

(1) グループホームの支援体制の強化

地域の暮らしの場としてグループホームの必要性がクローズアップされていますが、

「人員配置が少ない。医療的ケアに対応する体制が整っていない。ハード面においてスプリンクラー等の設置の費用が掛かる」など、重度の知的障害者を地域で支える場としては非常に脆弱な状況にあります。改めて地域の暮らしの場としてグループホームの体制が充実するよう、県独自の施策を打ち出していただくよう要望します。

(2) 障害者支援施設における職員配置の強化

津久井やまゆり園の事件を受け、県立施設においては夜間職員に県独自の配置が予算化されました。このことは県立施設に限らず、民間の入所施設においても安心・安全対策は急務であることから、県独自に民間の入所施設の夜勤職員の増員を要望します。

3. 神奈川県社会福祉会館の再整備について(継続要望)

昨年各福祉団体が福祉ネットワークを維持し、県民と共に県民への福祉サービス向上に取り組めるよう「福祉の拠点施設」において活動し、幅広い支援策を生み出すことができるように環境整備の支援をお願いしましたが、引き続き、神奈川県社会福祉会館の代替施設、福祉介護人材養成の拠点、災害時の福祉的支援の民間拠点等県行政との連携に必要な施設・設備が再整備されるよう要望します。

4. 神奈川県サポート事業の各市町村事業における格差是正について(継続要望)

(1) 障害福祉サービスに係る神奈川県単独事業が廃止され、交付金化となりましたが各市町村の財務状況により、市町村格差が生じています。サポート事業を完全実施できるよう神奈川県として市町村を補完できる事業化を要望します。

(2) 平成27年度から全ての障害者(児)の障害福祉サービス等の支給決定に際し、サービス利用計画案(障害児支援利用計画案)の作成が必要とされています。しかし、相談事業所に対する現状の基本報酬及びモニタリングの報酬では、相談事業所は安定した事業運営が難しい現状であります。

平成27年度報酬改定において特定事業加算等が示されましたが、協会調査で12.6%と指定状況は低いです。神奈川県内の計画相談の推進のため、神奈川県障害者地域サポート事業のメニューに計画相談支援に関するメニューを加えていただき、相談支援事業所が安定して運営できる体制を整備していただけるよう要望します。

(3) サポート事業は制度が始まってから10年を経過しました。当時と現在の障害福祉施策は大きく変化しています。現状に即した制度となるよう、サポート事業の検証及びメニューの見直しを要望します。

5. 神奈川県全体における公平性を担保した障害サービス利用(施設入所支援・短期入所)の利用調整について(継続要望)

・在宅生活を送る障害者の高齢化及び家族の高齢化により、障害支援施設の地域移行により多くの施設利用希望の増加が想定しています。併せて、将来の障害支援施設入所支援

サービスを踏まえ短期入所サービスの利用の増加が予想されています。 現行施設入所支援及び 短期入所の定員では、上記のニーズのみならず、虐待事案についても地域間配置も含め十分に対応できるだけのベッドは、確保されておりません。また、自治体間の連携も叫ばれていますが、現実ベッドの相互利用は、進んでおりません。地域の障害者が施設入所支援及び短期入所事業を利用できないのが現状であります

・この課題解決に向け、神奈川県障害者自立支援協議会におけるサービスの量及び質を把握し、切れ目のないサービスを受けられるよう整備するよう要望します。

6. 第5期神奈川県障害福祉計画について(新規要望)

(1) 地域生活支援拠点等の整備

地域生活拠点事業の整備にあたっては、市町村財政に影響等、施設入所支援及び短期入所事業の整備は大変困難な状況であります。神奈川県においてこの事業の整備にあたり、国の指針に基づき、面的整備型の他、人的配置及び施設整備等を行う多機能機能拠点型の整備も含み、具体的な計画策定を要望します。

(2) 基幹相談支援センターの設置について

この事業の設置促進が指針として示されていますが、現在神奈川県では未設置の市町村もあります。また、この事業実施にあたり「入所から地域移行の利用調整等」も円滑におこなわれていません。そのため、県主導で設置の促進及び基幹相談支援センターの実質的な業務内容等、相談支援体制の充実強化を要望します。

(3) 障害福祉人材の確保について

引き続き教育員会等の教育担当部局と連携し学校訪問等行い障害福祉に係る仕事を紹介する等により、若年層における障害福祉サービスに係る理解を促進する取組をお願いするとともに、神奈川県人材センターと連携し、福祉人材の無料職業紹介を行う取組等通じ、障害福祉サービス等に係る人材の確保を支援していただきますよう要望します。

7. 福祉型障害児入所施設の移行支援等について(新規要望)

いわゆる加齢児の移行支援は、県内で移行先を探すことは大変難しい状況であり、県外施設への移行も行われている状況です。平成33年3月末日まで、みなし規定が3年延長されましたが、加齢児の移行支援を速やかに実施するには、次のように施策の確立及び、県、市町村、児童相談所(行政機関)及び、障害福祉サービス事業所等が連携を図り地域の社会資源を拡充していく必要があります。

(1) グループホームでの強度行動障害、重複障害等のある利用者の受け入れができるよう加算制度等を創設し、地域移行の推進が図られるようお願いいたします。

(2) 概ね高等部2年生になると児童相談所から福祉事務所へ通知が行われ、障害福祉サービス等の利用に向けた情報提供が行われます。このときに移行支援の対象である

旨をしっかりと伝えて頂き、行政機関が責任を持って対応していただきたい。また、県及び市町村の平成30年度障害福祉計画及び障害児計画には加齢児の移行支援の必要量を明記するよう指導してください。

- (3) 行政機関及び障害福祉サービス等の事業所との情報交換、情報提供を促進するために、「加齢児等移行調整会議」等の機会を有効活用願います。
- (4) 「障害者地域サポート事業」の「成人サービス移行者受入れ事業」の活用ができるよう市町村に周知、指導し、より移行支援が行いやすい環境の整備を図ってください。
- (5) 津久井やまゆり園の再整備計画については、加齢児の移行支援の必要性も含めてご検討願います。

8. 障害者就労施設支援委について(継続要望)

- (1) 障害者優先調達推進法に基づく障害者就労施設等への発注をさらに促進するため、神奈川県が設置する障害者共同受注窓口組織の有効な活用と同窓口が継続的な運営を行われるよう、要望します。
- (2) 現在、就労継続支援B型事業の利用希望者に対して、就労アセスメントが実施されていますが、このアセスメントの活用について利用者自身が内容になじめず混乱をしている状況にあります。県内の市町村においても就労アセスメントの実施内容について温度差もあるため、統一した見解での実施その周知を要望します。

9. 共生社会の実現に向けて(新規要望)

障害があるため困難を抱える方々を理解し支え、ともに生きる社会づくりに努めるべきです。新たに共生社会推進課を設置しましたが、障害福祉課や他の福祉関連と乖離しないよう、十分な連携体制を維持・強化していただけるよう要望します。

10. 平成30年度障害福祉サービス報酬改定について(新規要望)

平成30年度に予定している障害福祉サービス報酬改定に関しては、重度化・高齢化等、地域の諸課題に関し、障害者が将来も安心して暮らすことのできる質の高い支援の構築に向け、安定的な障害福祉従事者の確保及び質の高いサービスを提供する事業所に対する適正な評価を反映した、現行報酬水準の維持を含め適切な報酬となるよう神奈川県から国へ要望を願います。

11. その他(新規要望)

黒岩知事も含めて県庁内に「福祉かながわ再び」の雰囲気醸成して欲しいと念願します。